

公民館月報

K O M I N K A N G E P P O



特集

自然体験活動

～「なじょもん寺子屋」の活動～

- 4.5 トピックス (社)全国公民館連合会(第47回)通常総会開催される
- 3 視点 社会教育委員として
- 3 ひろば コミュニティ活動への夢
- 6 実践記録シリーズ 「町内めぐりと町長さんと語る会」
- 7 サークル交流 絵は生涯の友(胎内市) / みんな楽しんで(粟島浦村)
- 7 素顔拝見 両川恵美子さん(糸魚川市) / 碓井芳文さん(上越市)



越後川口ヤナ場(男山漁場)

表紙解説 炭火で焼いた鮎や鮭、マスなどの川魚料理が自慢 営業期間 5～11月 TEL 0258-89-3104

(社)全国公民館連合会(第四十七回) 通常総会開催される

松下誠会長再任される

去る六月八日(木)第四十七回全公連通常総会が、東京・国立オリンピック記念青少年総合センター国際交流棟会議室で開催された。

当県公連からは、正会員として三保会長が、オブザーバー会員として鈴木事務局長が出席した。

議事等の概要は、下記のとおりである。

松下会長のあいさつでは、市町村合併等による公民館の統合や管理運営の合理化、さらには職員の配置・経費の



松下会長あいさつ

削減の進行

・県公連組織への加入の必要性の自覚が一部の地域で希薄化する傾向、県公連への負担金の確保が難しい、等の事態が生じている。

全公連としては、県公連への適切な支援策の一つとして「正会員会費」の削減について本総会で提案している。

次いで来賓の文部科学省社会教育課渡部博靖専門官(ポランティア活動推進専門官)からは、祝辞と併せ、①公民館の現状、②18年度予算、③関係省庁の連携事業、④教育基本法の改正、⑤「早寝、早起き、朝ごはん」国民運動の展開(当会報6月号8面掲載)、⑥地域子ども教室推進事業等について、約30分間にわたり、資料に基づいて説明がなされた。引き続き説明がなされ、入り(議長、宮城県公連阿部会長)

議案第1号 平成17年度事業報告書及び決算書の承認について(監査報告)

議案第2号 平成18年度事業計画(案)及び予算書(案)について

議案第3号 任期満了にもなう役員改選について(選挙委員の開催、昼食休憩)

役員名簿(並記表3面掲載)

議案第4号 第29回全国公民館研究会(宮城大会)の開催及び第30回全国公民館研究会の開催地(栃木県宇都宮市)について

議案第5号 その他、なし等すべての議案が異議なく承認された。

なお、議事に入る前、平成18年度功労者表彰が行われ、本県からは、佐渡市公民館前館長、伊藤博様が受賞された。

被表彰者名簿は第3面掲載のとおり

全国公民館振興市町村長連盟 平成18年度理事・代議員会(総会)開催

日時

平成18年6月23日(金)
午前11時～午後3時まで
関会長の代理で鈴木事務局長出席

場所

社団法人全国公民館連合会事務局会議室

理事・代議委員会次第

1. 会長あいさつ 井原 勇
2. 来賓あいさつ 全公連会長 松下 誠

議事

- 第1号議案 平成17年度事業報告並びに収支決算について(監査報告)
- 第2号議案 平成18年度事業計画(案)並びに収支予算(案)について
- 第3号議案 役員の一部改選について
- 第4号議案 その他、市町村合併で会員数の減少の問題



来賓 松下会長あいさつ

視点

社会教育委員として

妙高市社会教育委員 関原 信孝



妙高山の麓に自然環境に恵まれた妙高市が誕生して一年が過ぎました。三市町村の合併で、社会教育委員も各地域の規模に応じて選出されました。合併前の組織や行政の仕組み、また規模の違いから管理運営方法、公民館の在り方で地域差がありました。

本年度からは市の基本方針にあるように、地域づくりと市民の自治意識の向上を目指し社会教育委員として、生涯学習の原点、個人から社会へよりよい社会づくりに自分のできるか、公民館は地域

住民の交流の場、また学習情報や事業推進の発信基地になるように、個々の委員として、地域、学校、家庭などが一体となつて市民総参加の活気ある公民館にしなくてはなりません。

しかし行政改革、指定管理者制度の導入により、予算、職員の削減と公民館、生涯学習を取り巻く環境は決して明るいものではありませんが、地域の特色を活かし、生涯学習の拠点として、地域に合った公民館を考えていかなければ、と思っています。

HOT NEWS 掲示板

社団法人全国公民館連合会役員名簿

顧問	森 喜 朗	衆議院議員
会長	松 下 誠	関東・甲信越静岡ブロック
副会長	松 澤 直太郎	東北・北海道ブロック
副会長	鹿 熊 久 三	東海・北陸ブロック
副会長	福 間 敬 明	中国・四国ブロック
副会長	佐 藤 次 郎	学識経験者
理事	高 橋 昭	関東・甲信越静岡ブロック
理事	栗 本 裕 美	近畿ブロック
理事	吉 木 靖 範	九州ブロック
理事	村 松 真 貴子	学識経験者
理事	松 澤 宣 泰	学識経験者
監事	東 部 貢	兵庫県公連前会長
監事	阿 部 俊 昭	宮城県公連会長

平成18年度 功労者表彰 被表彰者名簿

氏 名	公 連 名
森 一 男	山形県公民館連絡協議会
今 井 秀 一	埼玉県公民館連合会
堀 口 近 三	埼玉県公民館連合会
桜 井 照 子	神奈川県公民館連絡協議会
伊 藤 博	新潟県公民館連合会
鹿 熊 久 三	富山県公民館連合会
生 田 裕 宣	鳥取県公民館連合会
植 田 宗 士	香川県公民館連絡協議会
岸 岡 俊 憲	徳島県公民館連絡協議会
松 縄 英 孝	大分県公民館連合会
前 泊 収	沖縄県公民館連絡協議会

ひろば

コミュニティ活動への夢

糸魚川市社会教育委員 伊藤 昭雄

私の夢を膨らませたきっかけは、地域コミュニティへの役員依頼だった。「名前だけでいいから二年間頼む」であった。教員を退職し幾つか地域社会の業務を受けていたが、平成十五年からの二年間、担当することにした。

夢実現に向け実践した環境美化の取組みの一つを述べる。

県道沿いの幅十五メートル、直線二百メートルの空き地に密集する雑木や雑草を徹底排除する作業を、雪解けと共に始めた。役員数人の先頭に立ち連日作業を重ね、柳葉ひまわりの子株四十を植えた。幸い秋に、黄色い花一色となり「地域環境が少し変わってきた」の住民の声を美感した。

今も尚、環境美化の拡充と前進を夢見て頑張っている。



「なじよもん寺子屋」の活動～

今年には10年に1度のブナの実の豊作年です。たくさん落ちていた木の実をふんだんに集めて、クッキーを作ってみよう！

⑧ ツリーハウスづくり

なじよもんの森の木を利用して、みんなの秘密基地を作ってみよう。どんな基地ができるかは、みんなのがんばり次第！さあ、森の中の素敵な隠れ家を作ろう！

⑨ アンギン編み

「アンギン」は鈴木牧之の「秋山紀行」にも出てくる編み布です。その技術は、津南町では江戸時代頃まで伝わっていましたが、近年途絶えてしまっていました。津南町の樽田で、その道具と技術伝承者が発見されて、その技術は復元され、地元の婦人会がこれを伝承しています。昔ながらの「カラムシ」という植物の繊維を使って、「幻の布」を復活させよう。

3. 自然体験活動の結果

「なじよもん寺子屋」の自然体験講座は、企画するのも講師をするのも地元住民であり、試行錯誤の繰り返しでした。もちろん、経験の浅さからさまざまな失敗もありました。例えば、「クズの葉で遊ぶ」の講座では、思った以上に葉や茎からクズ粉を採取することができず、「クズ湯を飲んでみる」という部分を実現することができませんでした。また、「ツリーハウスづくり」の講座では、講師の人数を維持することができず、また、時間的な制約もあって、木の皮をむいて柱を立てるところまでしか実現することができませんでした。

しかしながら、「クズの葉で遊ぶ」においては、他の植物の葉との違いを観察しながら、さまざまな葉で遊ぶことで、じっくりとゲーム感覚で自然観察をすることができました。また、「ツリーハウスづくり」においても、参加してくれた子ども

たちは真剣に取り組み、力を合わせながらそれぞれの作業に取り組みました。普段はあまりすることのなくなった、協力し合って1つの大きなことをなすという意義を感じてもらえたと思います。いずれの体験講座においても、参加してくれた子どもたちはいつでも一所懸命で、プログラムを作る、あるいは講師をする私たちが逆に感心してしまうことばかりでした。一方で、体験実習講座を実施するにあたって、事前に入念なシミュレーションと実験を繰り返すことの重要性を知ることとなりました。つまり、子どもたちの学習の場を作り出す私たちもまた、この体験講座を通して学習していったわけです。

4. 今後の展望

「なじよもん寺子屋」は、本年度も同様の形で続行しています。昨年度のさまざまな成功と失敗を踏まえ、さらにこれをパワーアップした形を実現するために、日々努力しています。この活動は、地域の子どもたちを育むだけでなく、講師やコーディネイトをする大人もまた同様に育っていける活動であり、生涯学習として非常に意義深いものであると考えます。これらを通して、地域全体がその歴史的自然背景を理解し、誇りを持って生きていける環境が整っていくものであると思います。こうした地域力をもって、津南町の独自性が他の地域へ伝わっていくことを望む次第です。

最後になりましたが、この活動に多大なるご理解とご協力をいただいている新潟県地域家庭教育推進協議会ならびに新潟県教育委員会生涯学習推進課、中越教育事務所の方々、また快く講師を引き受けてくださっている地元住民の皆様には厚くお礼申し上げます。

(レポート作成 文化財専門員 山本 克)



特集

自然体験活動～「な

津南町農と縄文の体験学習館

なじよもん寺子屋実行委員会
委員長

内山 緑



1. はじめに

「なじよもん寺子屋」は、「放課時の子どもの居場所づくり」を目的として、町内の有志によって計画された体験実習を主体とする活動です。この活動は、新潟県地域家庭教育推進協議会による「地域教育力再生プラン」に基づいて、なじよもん寺子屋実行委員会が受託した事業です。

地域住民が講師となって、「自然」・「民俗」・「歴史」・「考古」、「アートクラフト」、「軽スポーツ」など、多岐にわたる分野の体験実習講座を企画し、大勢の子どもたちから参加してもらいました。今回はこれらの体験実習活動の中から、「自然体験活動」にスポットを当てて、活動を紹介します。

2. 寺子屋が実施する自然体験活動

なじよもん寺子屋実行委員会では、「津南町農と縄文の体験実習館なじよもん」の体験実習プログラムに組み込む形で、体験実習講座を企画しました。自然分野においても体験実習のテーマは、共通の「自然と人とのつながり」においてプログラミングしました。つまり、人の生活の根幹をなす「衣」・「食」・「住」を意識しながら、講師と協議して体験実習講座の内容を作りあげたわけです。

こうして、以下のような体験実習講座が出来あ

がりました（文章は講座の紹介）。

① 摘んで食べよう！木の芽・草の芽

春限定の体験実習講座として企画しました。春の野山には、食べられる木の芽や草の芽がいっぱいあります。これらをちょっと拝借して、実際に食べてみましょう。

② クロモジの楊枝づくり

なじよもんの森には、さまざまな樹木が生育していますが、中でも「オオバクロモジ」はその特徴的な香りから、爪楊枝の材料として用いられてきたものです。地元のじいちゃんからその技術を学んでみよう。

③ ナワシロイチゴ摘み

なじよもんの野原には、初夏に「ナワシロイチゴ」がたくさんあります。これらをいっぱい集めて煮詰めて、美味しいジャムを作って食べてみましょう。

④ クワイチゴ摘み

なじよもんのある櫛ノ木平は、元は桑畑や桐畑だったそうです。その名残りで、今でもクワの木が多くあります。ここになるクワの実をいっぱい集めて、ジャムにして食べてみよう。※注意：クワの汁は、服につくととれないので気をつけよう！

⑤ クズの葉で遊ぶ

なじよもんの森の端には、クズの蔓がいっぱい絡まっています。この葉っぱや蔓を使って遊んでみましょう。うまくすれば、クズ粉が取れるかも？できれば、葛湯を作って飲んでみよう。

⑥ 草花遊び

夏：ススキの葉っぱを使って、バッタを作ってみよう。どんなバッタができるかな？

秋：ススキの穂を使って、ミミズクを作ってみよう。ススキの穂をいっぱい集めるのが勝負の分かれ目！がんばろう！

⑦ 木の实クッキー

絵は生涯の友

本間正英日本画教室

公民館事業から発足した「本間正英日本画教室」は昨年創立十周年を迎え、「本間正英展」を開催することができました。「絵は誰でも描けます。感動をもとに、見たまま描けばいいのです。誰にも真似の出来ない世界で一枚の絵が生まれます。絵を見ることは楽しく、絵を描けばなお楽しい」穏やかに接して下さい先生の言葉です。

山梨在住の先生が、毎月二度わざわざ教室のために来て下さっています。絵画鑑賞、



スケッチ旅行等にも一緒に、絵だけでなく多くのことを教えてもらっています。会員は三十四名。三十六歳から八十七歳まで、支え合いながら、和やかな教室です。絵を通して友人が増え、世界が広がります。

胎内市
代表 亀山 悦子 記



みんな楽しんで

内浦神楽練習サークル

粟島は冬場になると北風が強く吹く。漁にも出れない。そんな時期が十一月から二月中旬まで続く。

そんな冬場を利用して、伝



統文化、内浦神楽の練習がはじまる。会員は二十数名である。昨年までは男性ばかりであったが、今年から女性が一人名加入した。音楽指導の女教師である。

三月五日、村の芸能発表会には横笛を吹いてデビューを飾った。

サークルの練習期間は冬場の約四ヶ月間、小学校の高学年から中学生、青年が集って練習している。練習内容は、笛、太鼓、獅子舞であり、正月には一軒一軒門付け等行い、村民から喜んでもらっている。冬場の良き娯楽でもある。

粟島浦村
教育委員会

工藤 泰則 記

地域の“お茶の間”友に楽しみ学びあう、を合言葉に、各講座、教室、事業に取り組んでいる多忙な地区公民館職員に採用され2年目となりました。

本人は、1年目の感想を毎日が新鮮でスリリングだったと言っていますが、持ち前の明るさと笑い声に新人であることをつい忘れてしまいます。

大野で生まれ、育ち、お嫁さんになった根っからの「大野っ子」が仕事にも生か



糸魚川市大野地区公民館

副主事 両川恵美子さん

素顔 拝見

されていると思います。

小6、中2の2見の子育てにも奮闘する中で、時には一緒に剣道に汗流す(面の下には普段は見せない真剣な厳しい目?)有段者でもあります。

事業の内容が少しわかった2年目は、新しい視野でのアイデアが事業企画や、毎月発行している公民館報に反映されるのではと期待しています。

(糸魚川市大野地区公民館長

石田公一 記)

昨年1月の市町村合併に伴う異動で、柿崎区分室にいられた碓井さん。数多くの公民館事業をテキパキとこなしています。特に柿崎区内外の史跡・文化・歴史等を探訪し柿崎を再認識する「ふるさと総合講座」や、歴史の講話や地区内外の施設見学から楽しくふるさとを学ぶ「ふるさと楽習塾」は、企画・立案・講師依頼・行程作成まで一人で行い、市民からも喜ばれています。(本人も結構楽



○上越市教育委員会柿崎区分室

主任 碓井 芳文さん

しんでいるようですが?)また、地区公民館にいられる市民にも笑顔絶やさず対応しており、高齢者の評判は抜群です。

趣味は山菜採り、本人しか知らない秘密の場所があるそうですが、正直な性格からか情報漏えいとなっているようです。

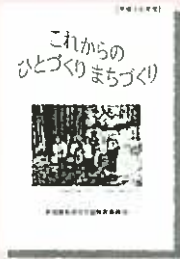
やさしい碓井さん。これからも頑張ってください。

(上越市教育委員会柿崎区分室

主任 布施和代 記)



「中越の生涯学習」
 内容は、第1章中越の生涯学習・社会教育・社会体育・芸術文化の概況 1 指導者の育成・活用 2 家庭教育の充実 3 地域で子どもを育てる環境づくり 4 地域住民が主体的に学ぶ体制づくり 5 生涯にわたって親しむスポーツの推進 6 芸術鑑賞機会の充実と文化財の保存・活用 第



2 章市町村事業情報 1 青少年対象事業 2 家庭教育・子育て支援事業 3 住民参加・NPO・庁内他部門連携事業等 4 社会体育事業 5 芸術文化活動の振興 第3章資料等から構成されており、また「これからのひとづくりまちづくり」平成18年度の市町村の社会教育行政を、より一層円滑に

「中越の生涯学習」
 中越教育事務所社会教育課
 下越教育事務所

Network

公民館月報第1回編集委員会開催

- 日時 平成18年6月29日(木) 13:30~15:30
- 会場 新潟市生涯学習センター 301号室
- 内容 (1)平成18年度原稿執筆割当て計画について (2)「新潟県公民館月報」の編集について 下半期特集テーマ等 (3)その他



平成18年度 編集委員名簿

氏名	所属
1 尾 瀬 晃	新潟県立生涯学習推進センター 学習振興課 副参事
2 磯 野 茂	糸魚川市中央公民館 主査
3 ○佐 野 行 男	見附市中央公民館 館長
4 ○兼 木 進	湯沢町公民館 館長
5 ○宮 内 勝 也	五泉市公民館 主事
6 樋 口 栄 子	新潟市北地区公民館 主幹
7 ○山 吹 文 子	新潟市中央公民館 社会教育主事

○印 新任

推進するために刊行されたものです。
 パートIは、平成18年度県の方針及び主要施策の概要、パートIIは、ひとづくりまちづくりの6つの指針・努力事項・改善に向けて、1 住民の主体性をはぐくみ活かす体制づくり 2 家庭教育や子育てを地域で支援する基盤づくり 3 地域で子どもを育てる環境づくり 4 地域ではぐくむ人づくり 5 地域の学習資源を守り、活かす体制づくり 6 生涯にわたってスポーツに親しめる環境づくり パートIIIは参考資料 等で内容構成されております。

event information

2006 夏休みの催物ご案内 期間：7月22日(土)~9月3日(日)

夏休み特別企画「おもちゃの話と実演」

- コマのサーカス
 日時：8月6日(日) ①11:00~(実演) ②12:00~(コマ回し指導) ③14:00~(実演) ④15:00~(コマ回し指導)
 講師：日本独楽博物館長 藤田 由仁氏
- 紙ヒコーキ教室
 日時：8月12日(土) 13:30~14:30
 講師：DR. 月波(94年度紙飛行機日本チャンピオン 工学博士 月波純氏)
- むかしのおもちゃ
 日時：8月20日(日) 13:00~14:30
 講師：新潟県立歴史博物館 伊与部 倫夫氏
- 遊樂の話
 日時：8月27日(日) 13:00~14:30
 講師：平林 正志氏 ※都合により、一課変更又は中止する場合があります。

開館時間延長のお知らせ

平成18年8月1日~31日の期間、下記の通り開館時間を延長いたします。
 期間：平成18年8月1日~31日
 時間：午前9時30分~午後5時 (入館は午後4時まで)
 ※8月7日、21日、28日は休館日です。

料金

項 目	小・中学生	大人
入 館 料	100円	550円
入館料・プラネタリウム観望料	200円	750円

- 幼児、障害者手帳をお持ちの方は無料です。
- プラネタリウムを観望される場合は入館料が必要です。
- 20名以上(有料入館者)の時には割引制度があります。

夏休み中の休館日は、7月24日(月)、31日(月)、8月7日(月)、21日(月)、28日(月)です。
 ※毎週月曜日(月曜日が祝日の場合は翌日)の定休日のほか、設備点検整備等のための休館日があります。

星空ウォッチング：

夏の星座や木星・土星などを観望します
 日 時：7月27日(木)、8月1日(火)、10日(木)、18日(金)、9月1日(金)
 19:00~21:00
 会 場：屋上及びプラネタリウムドーム
 料 金：200円
 申込み等：電話等による申込み210名(先着)

からくりの世界：

茶運び人形や段取り人形などのからくり人形の実演をします
 日 時：7月23日(日)、8月27日(日)
 ①13:00~13:30
 ②15:00~15:30
 会 場：科学室
 申込み等：各回先着40名

☆☆☆☆☆ お問い合わせ先 ☆☆☆☆☆

電話 (025)283-3331 FAX (025)283-3336

新潟県立自然科学館

第47回関プロ大会(群馬大会) 第3分科会「ボランティアの育成と支援」で、上越市立公民館が事例発表予定、現在着々準備中です。本県からは42名

参加の予定です。

県公連の財政基盤の確立は現下急務の課題ですが、委員の一部を交替して第一回目の会合を開きたく、目下日程調整中です。

(鈴木 記)

実践記録

100

シリーズ

「町内めぐりと町長さんと語る会」

荒川町教育委員会生涯学習課社会教育指導員 本間 まさあき 正晟

1. はじめに

荒川町では毎年、青少年育成町民会議の主催で「町内めぐりと町長さんと語る会」を実施しています。

この会は、昭和60年度に始まり、これまで20年の歴史があります。

第1回目は、各集落から中学生26名、高校生6名、勤労青年2名が参加しています。

当時の町長さんから、町民をより幸せにするために町長になった話や情熱を持って取り組んでいる事業についての話があり、参加者に夢と希望が持てる力強いものだったようです。

町長さんと語る



参加した中学生は、「会を終えて何日か後のことです。テレビ放送に映った町長さんを見て親しみを感じました。あの会で自分達しか知らない町長さんと会ったからだ、と思います。初めは何とも思わなかった会ですが、今考えると大変意味のあった会だと思います。なぜなら、私達と町長さんの間に今までなかったつながりを作ってくれたのですから」と語っています。

翌年からは、小学6年生が参加するようになって今に到っています。

2. ねらい

「町内めぐりと町長さんと語る会」のねらいを次のように定めて実施しています。

- ・町内めぐりを通して、わたしたちをはぐくんでくれた荒川町の自然・歴史・産業などについて理解を深め、郷土を愛する心を育てる。
- ・町長さんより直接お話を聞き、荒川町の町づくりについて関心を高め、町民としての自覚を持つ。
- ・保内小・金屋小の6年生が一緒に行動して友達になり、中学校生活への足がかりにする。

3. 活動の実際

- ・平成17年8月29日
- ・参加者
保内小12名、金屋小9名、指導者・付添9名、計30名



企業見学

・日程

- (1) 公民館集合 9:00~
- (2) マツウラセイキ工場見学
- (3) ゴルフ場見学
- (4) 町長さんと昼食会
- (5) 町長さんと語る会
- (6) 荒川町浄化センター見学
- (7) 解散 15:30

移動には、町のマイクロバスを利用しました。



ゴルフ場見学

4. 参加者の感想

- ・たくさんの機械があってびっくりしました。スプリングを作る時、針金がぐるぐると一瞬で巻かれていくので、とてもびっくりしました。
- ・バターゴルフは初めてだったので、緊張しました。なかなか入らないので苦戦しました。
- ・町長さんから荒川町のリサイクルのことや趣味の登山のことを教えてもらいました。
- ・水をきれいにする機械や小さな生物の話聞いた後、入ってきた汚い水がすごくきれいな水になって出ていくのにびっくりしました。

5. おわりに

保内小・金屋小の児童は、はじめは緊張ぎみな様子も見られましたが、しだいに打ちとけ合っていました。町内をめぐり、町長さんと話をする中で、自分の住む郷土の新たな発見をした充実した夏の1日でした。